

平成 30 年度 第 2 回 東京都教員育成協議会 会議要旨

- 1 日 時 平成 30 年 10 月 18 日（木）午後 3 時から午後 5 時まで
- 2 会 場 第二本庁舎 31 階 特別会議室 22
- 3 出席者 増淵委員（委員長）、佐々木委員、森山委員、卜部委員、吉川委員、後藤委員、豊岡委員、池谷委員、斉藤委員、野村委員、上原委員、金澤委員、朝日委員、早川委員、安部委員、宇田委員

4 議事内容

（1） 教員養成・教員採用・学校における人材育成の現状と課題について

- ・ 大学は、教職課程コアカリキュラムに準じたシラバスの作成が求められている。東京都教職課程カリキュラムはこれを踏まえて作成されているので、今後更に活用していきたい。
- ・ 教職を魅力ある職業として、教育委員会と大学とが協力して広報していく必要がある。教員採用試験の受験者を増やすことは重要である。
- ・ 受験倍率は減少傾向だが、教員免許の発行件数は増加傾向にある。教員採用選考の説明会を各大学で実施しているので、学生には是非参加していただきたい。
- ・ 指導教員には、学習指導や生活指導等について、新規採用教員や実習生等をその育成状況に応じて指導していく必要がある。
- ・ 若手教員の大量採用や学校の小規模校化等、教員の人材育成は学校教育の大きな課題であり、教育委員会、学校及び大学との連携はますます重要になってきている。

（2） 「東京都教員研修計画」（以下「教員研修計画」という。）に基づく教員研修の現状と課題について

- ・ 教員研修計画については、教員の専門性や職層等に応じた地区独自の教員研修計画を策定する際にも参考にしている。関連を図りながら取り組んでいきたい。
- ・ 研修体系について、内容の充実を図るとともに、働き方改革の視点で、大幅な見直しを検討している。
- ・ 夜間の受講ができるようにするなど、教員が自主的に学べるような体制を整備している。また、学校現場の抱える課題等に応えるべく、スクールリーダーの養成も検討している。研修の中で、教員の自己啓発は重要な要素である。

（3） 「東京都教職課程ハンドブック」（以下「ハンドブック」という。）の改訂について

- ・ 東京都の取組や資料集等を掲載して、東京都の魅力を伝えることが大切である。
- ・ 小学校以外の校種についても幅広く取り上げるなど、内容の充実を図り、学校や教員とはどういふものであるかということ、学生が捉えやすいものであってほしい。
- ・ 福利厚生や人材確保の取組等についても掲載すると効果的ではないか。